

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
住環境計画	小野寺 一成	講義	2	建築士	1, 2, 3	3	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	住宅地を構成する諸環境（道路、公園緑地、街並み景観、住環境整備、地区計画、都市計画、まちづくりの方法等）について基本的な仕組みと計画手法などを講義する。 具体的な事例を題材に住環境計画の基礎知識、考え方、計画理念、計画方法等を多面的に学び、住宅及びその周辺環境を取り扱い、住宅地計画や地域施設設計に関する学習の出発点となるものである。						
到達目標	居住環境コースにおけるまちづくり及び都市計画分野の基礎知識を身につけることを目標とする。						
回	学習内容						
1	ガイダンス：講義内容、講義スケジュール、住環境とは						
2	住環境を形成するまちづくりの概要						
3	都市の成り立ちからみる住環境						
4	住環境を形づくる都市計画						
5	住環境を形成する土地利用計画						
6	住宅とまちをつなぐ、道路、公園						
7	住宅地、まちをつくる市街地開発						
8	講義前半のまとめと中間試験						
9	住民主体のまちづくりによる住環境整備						
10	地区計画による住環境計画						
11	住宅地の街並み形成デザイン						
12	防災に強い住宅地計画						
13	コミュニティ、コミュニティデザイン						
14	住民参加型まちづくりの特徴と効果						
15	全講義のまとめと期末試験						
予習内容 復習内容	予習：各講義のテーマに関連した文献や講義中に示した参考文献などに目を通しておくこと。 復習：毎回配布する資料を復習するとともに、講義の重要なキーワードを理解しておくこと。						
教科書	テキストは使用しない。基本的には、Power Point を使用した講義。ppt 資料などを配布。 テーマによっては、DVD 教材などの視聴覚教材の利用。参考文献などは講義中に提示。						
成績評価	中間試験(40%)、期末試験(50%)、講義後小レポート(10%)をあわせて評価。 1/3 を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなす。						
実務経験	都市計画事務所に勤務し、市町村総合計画、都市計画マスタープラン、住環境整備計画、地区計画、公営住宅統廃合計画などを策定したほか、住環境整備事業や公営住宅建替事業等に参画。 授業では、これらの実務経験を活かした実践的な調査研究、計画・設計力の養成に努める。						
その他 特記事項	授業の最後に、当日行った講義の重要なキーワードの回答を求める簡単な講義後小レポート(A6 判)を予定。						